



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トラスト

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長谷川 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 吉田 智哉

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日

配当支払開始予定日

平成28年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,577	△5.9	709	△8.8	673	△7.3	220	△28.5
28年3月期第2四半期	9,111	8.5	777	24.6	726	22.7	307	30.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 429百万円 (△2.5%) 28年3月期第2四半期 440百万円 (17.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	8.50	—
28年3月期第2四半期	11.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	24,499	7,597	23.5	222.18
28年3月期	22,666	7,206	24.6	215.36

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 5,749百万円 28年3月期 5,572百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
29年3月期	—	1.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,693	△6.5	1,474	△10.0	1,407	△8.4	502	△18.5	19.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	28,150,000 株	28年3月期	28,150,000 株
29年3月期2Q	2,273,100 株	28年3月期	2,273,100 株
29年3月期2Q	25,876,900 株	28年3月期2Q	25,876,900 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、英国のEU離脱問題等による円高の進行、中国及び資源国の景気減速により、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で為替リスクなく安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高8,577百万円(前年同期比5.9%減)、営業利益709百万円(前年同期比8.8%減)、経常利益673百万円(前年同期比7.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益220百万円(前年同期比28.5%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、資源価格下落等による不況の影響で輸出国の景気と需要が低迷し、また外貨準備高不足により海外送金が困難な状況が続いており、輸出台数は減少いたしました。当第2四半期連結累計期間における業界全体の輸出台数は58.1万台(前年同期比8.5%減)となりました。

このような状況のなか、当社グループは車輛販売のみならず、アフターサービスの強化により顧客満足度を向上すべく部品販売にも注力いたしました。また、中南米地域においてB2B取引先との関係強化により販売台数は増加したものの、メイン販売先であるアフリカ地域における販売台数の減少より当社グループの輸出台数は2,940台(前年同期比18.6%減)となり、また、円高の進行により利益率が低下しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高3,449百万円(前年同期比11.0%減)、営業損失0百万円(前期営業利益200百万円)となりました。

#### ② レンタカー事業

レンタカー業界においては、レンタカー需要の高まりを受け事業者及び登録台数ともに年々増加し、市場規模が拡大するとともに競争も激化しております。

このような状況のなか、当社グループは、継続的に直営・FCの空白地域への新規出店を推進し、様々な施策により新規出店店舗の早期黒字化を目指しております。また、TVCMの継続的な放映、顧客満足度向上策の実施、好立地への移転等により個人顧客への販売強化に注力いたしました。当期において直営店の所沢店(埼玉県)、名古屋駅前店(愛知県)、FC店の茨城土浦店(茨城県)、淡路島洲本店(兵庫県)を新規出店し、直営店及びFC店の総店舗数は126店、総保有台数は14,286台(前年同期比6.7%増)となりました。さらに、レンタル終了車輛の販売台数は875台(前年同期比17.6%増)となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高4,176百万円(前年同期比13.4%増)、営業利益685百万円(前年同期比24.8%増)となりました。

#### ③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、資源価格の下落等により景気が低迷し、それに伴い平成28年1-9月期の新車販売台数は37万台(前年同期比19.9%減)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国でブジョー・シトロエンディーラー1店舗、スズキディーラー3店舗、フィアット・アルファロメオディーラー1店舗の合計5店舗を運営しております。また、新車販売のみに頼らない収益構造を構築すべく、継続的に中古車・サービス部門で経営改善を行い収益力向上に取り組みました。景気低迷の影響等により新車販売台数は合計327台(前年同期比9.9%減)、中古車販売台数は合計631台(前年同期比9.3%減)となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,357百万円(前年同期比20.2%減)、営業利益4百万円(前年同期比78.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.4%増加し、13,683百万円となりました。これはリース債権及びリース投資資産が1,090百万円、現金及び預金が402百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて9.0%増加し、10,816百万円となりました。これはリース資産(純額)が550百万円増加したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて8.1%増加し、24,499百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.0%増加し、13,447百万円となりました。これはリース債務が1,244百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて14.8%増加し、3,455百万円となりました。これはリース債務が449百万円増加したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し、7,597百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ402百万円増加し、1,600百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は2,774百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益668百万円、減価償却費1,300百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は534百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出335百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1,829百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出1,470百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたB2C販売の拡充、継続的なB2B販売先の新規開拓、部品販売の強化等により売上の拡大に努めてまいります。

レンタカー事業につきましては、既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。

海外自動車ディーラー事業につきましては、引き続き既存店舗の収益改善を継続的に行い、売上拡大及び利益向上を図ってまいります。

なお、平成28年10月27日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。今後何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,197,649	1,600,134
受取手形及び売掛金	1,051,037	1,297,787
リース債権及びリース投資資産	7,490,151	8,580,711
商品及び製品	2,040,692	1,452,520
仕掛品	2,000	1,679
原材料及び貯蔵品	28,494	18,985
その他	941,041	737,645
貸倒引当金	△5,223	△6,390
流動資産合計	12,745,844	13,683,075
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	4,874,333	5,424,992
土地	3,192,817	3,193,225
その他（純額）	1,192,421	1,365,584
有形固定資産合計	9,259,572	9,983,801
無形固定資産		
のれん	95,417	91,308
その他	76,312	68,023
無形固定資産合計	171,729	159,332
投資その他の資産		
その他	503,144	687,338
貸倒引当金	△14,187	△14,007
投資その他の資産合計	488,957	673,331
固定資産合計	9,920,258	10,816,465
資産合計	22,666,103	24,499,540
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	543,202	534,213
短期借入金	970,000	650,000
リース債務	9,758,748	11,003,444
未払法人税等	272,241	225,925
賞与引当金	77,263	76,249
その他	828,245	957,225
流動負債合計	12,449,701	13,447,058
固定負債		
リース債務	2,906,716	3,356,262
役員退職慰労引当金	30,125	3,525
資産除去債務	13,796	34,979
その他	59,505	60,334
固定負債合計	3,010,144	3,455,101
負債合計	15,459,846	16,902,160

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	3,709,034	3,890,224
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	5,614,625	5,795,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,596	14,299
為替換算調整勘定	△54,451	△60,718
その他の包括利益累計額合計	△41,855	△46,419
非支配株主持分	1,633,487	1,847,983
純資産合計	7,206,257	7,597,379
負債純資産合計	22,666,103	24,499,540



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,111,277	8,577,026
売上原価	6,754,339	6,296,039
売上総利益	2,356,938	2,280,986
販売費及び一般管理費	1,579,259	1,571,565
営業利益	777,679	709,421
営業外収益		
受取利息	5,810	5,955
受取配当金	6,230	7,213
投資有価証券償還益	2,444	1,148
受取保険金	—	8,759
その他	3,655	4,999
営業外収益合計	18,140	28,076
営業外費用		
支払利息	47,948	49,628
為替差損	20,890	13,361
その他	912	1,482
営業外費用合計	69,751	64,472
経常利益	726,068	673,025
特別利益		
投資有価証券売却益	424	—
特別利益合計	424	—
特別損失		
固定資産除却損	394	1,227
固定資産撤去費用	—	3,526
特別損失合計	394	4,754
税金等調整前四半期純利益	726,098	668,270
法人税、住民税及び事業税	243,653	222,623
法人税等調整額	5,103	11,170
法人税等合計	248,757	233,794
四半期純利益	477,341	434,476
非支配株主に帰属する四半期純利益	169,647	214,470
親会社株主に帰属する四半期純利益	307,693	220,006

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	477,341	434,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,505	1,728
為替換算調整勘定	△24,876	△6,266
その他の包括利益合計	△36,382	△4,538
四半期包括利益	440,958	429,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	271,577	215,442
非支配株主に係る四半期包括利益	169,381	214,496

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	726,098	668,270
減価償却費	1,199,060	1,300,203
のれん償却額	3,435	3,265
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,610	3,952
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,117	△1,013
受取利息及び受取配当金	△12,041	△13,169
支払利息	47,948	49,628
為替差損益 (△は益)	1,629	5,410
固定資産除却損	394	1,227
投資有価証券売却損益 (△は益)	△424	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△139,233	△251,845
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△98,865	879,430
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40,666	5,780
未払消費税等の増減額 (△は減少)	60,940	△3,670
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△337,177	188,872
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	811,462	270,959
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	2	△4,426
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△4,740	505
その他	1,632	△26,410
小計	2,220,949	3,076,968
利息及び配当金の受取額	12,061	13,037
利息の支払額	△48,004	△49,600
法人税等の支払額	△297,452	△266,196
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,887,553	2,774,208
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△415,337	△335,008
無形固定資産の取得による支出	△11,807	△12,794
投資有価証券の売却による収入	559	—
貸付けによる支出	△704	△176,476
貸付金の回収による収入	4,236	1,829
敷金及び保証金の差入による支出	△8,287	△30,790
敷金及び保証金の回収による収入	13,201	9,579
その他	△7,235	9,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△425,375	△534,409
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△160,000	△320,000
社債の償還による支出	△7,000	—
リース債務の返済による支出	△1,363,003	△1,470,405
配当金の支払額	△38,839	△38,842
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,568,843	△1,829,248
現金及び現金同等物に係る換算差額	△422	△8,064
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△107,088	402,485
現金及び現金同等物の期首残高	814,962	1,197,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	707,874	1,600,134

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,874,465	3,535,420	1,701,391	9,111,277	—	9,111,277
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,710	147,392	—	150,102	△150,102	—
計	3,877,175	3,682,813	1,701,391	9,261,380	△150,102	9,111,277
セグメント利益	200,161	549,080	22,147	771,388	6,291	777,679

(注) 1. セグメント利益の調整額6,291千円には、のれん償却額△3,435千円、棚卸資産の調整額8,496千円、セグメント間取引1,229千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,447,560	3,772,237	1,357,228	8,577,026	—	8,577,026
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,891	404,601	—	406,492	△406,492	—
計	3,449,452	4,176,836	1,357,228	8,983,518	△406,492	8,577,026
セグメント利益	△991	685,085	4,880	688,974	20,446	709,421

(注) 1. セグメント利益の調整額20,446千円には、のれん償却額△3,265千円、棚卸資産の調整額7,964千円、セグメント間取引15,748千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。